

(6) ヘビキノコモドキ近縁種 (テングタケ科テングタケ属)

期 日：平成24年7月27日

場 所：佐賀市金立教育キャンプ場

山溪カラー名鑑「日本のきのこ」初版で“キリンタケ”とされていたものが誤同定であることが判明し，“ヘビキノコモドキ近縁種”と修正されました。ここで採集された右写真のきのこが、修正されたヘビキノコモドキ近縁種だと思います。

傘のいぼは灰色、柄に灰褐色の鱗片があります。ヘビキノコモドキ近縁種の特徴を示しています。



ヘビキノコモドキの傘にあるいぼは、黒褐色をしています。また、



孢子（視野は400倍）

キリンタケの傘にあるいぼは灰色っぽいですが、柄がほぼ白色で灰褐色の鱗片がほとんどありません。似たきのことして、「北陸のきのこ図鑑」にオオササクレキリンタケ（仮称）、フタツミキリンタケ（仮称）、キヒダキリンタケ（仮称）が掲載されていて、形態的によく似た近縁種があり、分類学的な検討が必要といわれています。ヘビキノコモドキの傘表面にあるいぼの形も、下記写真のように、典型的な圧着したもの(左)や錐状になっているもの(右)があります。いぼの形が違う例として、テングタケとテングタケダマシがあります。



ヘビキノコモドキ	ヘビキノコモドキ近縁種	キリンタケ(ヘビキノコ)
<ul style="list-style-type: none">傘表面に黒褐色のいぼ 圧着していて、ひび割れた感じ柄は灰色～灰褐色で繊維状細鱗片、つばより上にだんだら模様	<ul style="list-style-type: none">傘表面に灰色のいぼ柄に灰褐色の鱗片	<ul style="list-style-type: none">傘表面に灰色のいぼナタネ臭がある。柄がほぼ白色で、灰褐色の鱗片を欠く
※ヘビキノコモドキのいぼの形の違い 発生したときの温度や湿度によって違うのでしょう。		
 圧着している	 錐状に尖っている	